

リアルゼミ札幌

9/30 土 12:30~16:30 (開場 12:00)

さっぽろテレビ塔ホール・ネット中継あり



試される学校

その先の GIGA とデジタルシティズンシップを構想する

共催：日本デジタル・シティズンシップ教育研究会 (JDiCE) 公益財団法人 KDDI 財団

後援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会

函館市教育委員会・石狩市教育委員会・森町教育委員会

さくらインターネット研究所・NoMaps 実行委員会

北海道教育大学

参加無料 登録はこちらから (9/29 まで)

会場参加 (定員 100 名)

<https://real4sapporo.peatix.com/>



オンライン参加 / アーカイブ視聴 (定員 200 名)

<https://online4sapporo.peatix.com/>



JDiCE

Japan Digital Citizenship Education Research Group
日本デジタル・シティズンシップ教育研究会

KDDI
KDDI Foundation

リアルゼミ札幌

試される学校

その先の GIGA とデジタル・シティズンシップを構想する

プログラム

(※敬称は略させていただきます)

開会 12:30

基調講演 ICT のよりよき使い手として主体的に取り組む子の育成を目指して

紺野宏子 北海道教育大学 教授

GIGA スクール導入と同時に、デジタルネイティブ世代の子どもたちが、どのように ICT と関わっていくか、この問題に子どもたちが主体的に取り組むためにはどうしたらよいのかが大きな問題となりました。子どもたちが、自分たちの意思で、なおかつ他者の主体性をも尊重しながら、自律的に ICT のよりよき使い手として育っていくための取組はどうあればよいのか考えます。

ライトニング 超絶簡単デジタルシティズンシップ

前多昌顕 つがる市立森田小学校 教諭

GIGA スクール導入前から ICT を活用し、インターネットの利便性とリスクを経験。子供たちには「リアルでダメなことはネットでもダメ」と伝え続けている。自己判断力を育てるため計画的放置も行っている。ログアウトせず下校したり、QR コードを放置したりすることの危険性について考えさせた事例を紹介する。

ライトニング 生成系 AI の学校での利用について

大橋剛 札幌市立大谷地小学校 教諭

ChatGPT などの生成系 AI を、学校の校務や授業などで実際に利用してわかった様々な活用法や、注意しなければならない点についての報告です。創造力や問題解決能力を向上させるために、学校現場でも生成系 AI の導入が有効である反面、情報の信頼性と倫理的な問題に対処しつつ、批判的な思考やプライバシー保護をすることの重要性などについての、実践を通じた発表です。

ライトニング 小学校低学年から育まれるデジタルシティズンシップ～“メディア”との距離を子どもと一緒に再考する～

松倉翔太 函館市立本通小学校 教諭

端末活用の事例はアプリや教材などの、コンテンツに重きが置かれる傾向があり、低学年での導入においては工夫が求められる。そこで、小学校児童におけるデジタルとの関わりを、低学年担任の目線から報告する。端末導入期の事例と、その後の活用の方法などを紹介する。低学年にフィットするようにアレンジしたことや、デジタルならではの「学びのあしあと」の活かし方を通して、低学年におけるデジタルシティズンシップの育み方の一歩目を探っていききたい。

ライトニング 生成型 AI を叩き台とした「青函比較論」の作成について

藤原友和 函館市立万年橋小学校 教諭

函館市の小学6年生は4年ぶりに青森県への修学旅行を実施する。そこで昨年度までに学習した函館市についての学習を相対化し、将来の自分の生き方につなげる視点として「青函比較論」の作成を指導した。その際、生成型 AI を用いてレポートの叩き台を作成し学習に活用した。

ライトニング GIGA3 年目！一人一台端末を活用！本校の取り組み

前多香織 石狩市立双葉小学校 教諭

GIGA3 年目になり、GIGA 環境や端末の活用の学校間格差が目立ち始めていると言われていています。3 年前の本校は、特に ICT 推進している学校ではありませんでした。校内体制を整えて1から始めた GIGA の取り組みによって、GIGA 端末活用の日常化が定着し、現在では情報化優良校に認定されるまでのレベルになりました。本校の GIGA の様子について話します。

休憩①～ 14:05

授業実践 シェアの責任～フェイク情報を見極めて～

中里彰吾 札幌市立中央小学校 保健主事

昨年 11 月に5年生を対象にした授業である。責任のリングを学習したのち、どんなときに情報をシェアするのかを考えさせた。いくつかの場面を提示し、シェアするか否か、またその理由をディスカッションしていく中で、それぞれの価値観があることを学

学校での GIGA スクール構想展開をいかに円滑に進めるか、ChatGPT をはじめとした新しいテクノロジーとどう向き合うか、デジタル・シティズンシップの先駆的な取り組みをはじめとして東北・北海道の実践者が大通公園のど真ん中、さっぽろテレビ塔に集結します。GIGA の先を展望するための貴重な学びの機会です。みなさま多数のご参加をお待ちしております。

んでいく。授業の後半では、北海道胆振東部地震の際のフェイク情報と本当の情報を提示し、どれがフェイクであるのか、どう見極めるのか、自分はそれをシェアするのか考えさせた。

授業実践

メディアの見方を考えよう

齊藤剛 札幌市立中央小学校 教諭

小学校低学年におけるメディアの見方についての実践。小学生にとって身近なメディアである CM を取り上げた。「本当のことと本当ではないことがあるよ。探してみてね」という視点を与え、いくつかの CM を視聴させる。友達との交流を通して、様々な気づきを得る中で、CM の表現と作り手のねらいについて考える。

ライトニング

BYAD 環境下での DC 教育

有金大輔 北海道教育大学附属函館中学校 教諭

2017 年度より chromebook 端末 (BYAD) での教育の展開を行っている本校で 1 人 1 台端末を活用した DC 教育を行いました。3 回の授業実践での気づきや学びについてお話しします。

ライトニング

ICT 機器活用で引き出す！楽しさドリブンな学び

澤田大揮 北海道札幌南高等学校 教諭

私は公立高校の英語科教諭としてずっと、「楽しさドリブン」な学びを大切にしてきました。ICT 機器は、その実現のための強力な道具であると確信しています。今回のライトニングトークでは、私自身が英語の授業や、今年度担当している総合的な探究の時間においてどのように ICT 機器を活用し、「楽しさドリブン」な学びを目指してきたか、失敗談もふんだんに含めて実践内容をご紹介します。

ライトニング

学校設定科目「Google 演習」でリテラシー向上

尻江重幸 札幌新陽高等学校 教諭

今年度から開講することになった学校設定科目である Google 演習。この授業の概要とここで展開されている教育を、「これからの時代を生き抜く子どもたちにデジタルスキル」という観点からお話しします。

ライトニング

国語と探究の授業で考えるデジタル・シティズンシップ

長澤元子 北海道函館西高等学校 教諭

ICT を使って授業の中において安心安全の場作りをし、かつ、授業内において生徒たちが自由に相互承認をし、自分の意見を発信し、相手の意見を受け入れることができるようになることは社会に出るに当たって非常に重要です。今回は、そのための授業設計とファシリテーションについてお話しします。高等学校普通科のデジタル・シティズンシップ教育について、探究活動と国語科の複数教科の授業実践を元にお話しします。

ライトニング

デジタル・シティズンシップ教育における企業の役割

朝倉恵 さくらインターネット研究所 研究員

デジタル・シティズンシップ教育を行う必要があるのは、学校だけではありません。学校での教育を円滑に進め、社会全体を変革していくために、大人が、そして企業が果たす役割について考えます。

休憩②～ 15:45

授業実践

総合学科におけるデジタルシティズンシップ教育の実践報告

五十嵐賀子 北海道森高等学校 教諭

森高校では、生徒一人につき一台ずつ Chromebook が貸与されており、日頃から Chrome デバイスを利用して授業を受けるなど、ICT を活用した授業が盛んである。その中で見えた、生徒が主体的かつ実用的なデバイスの活用実践の紹介を交えながら、情報モラル教育からデジタルシティズンシップ教育の流れを意識した授業設定と、それに対する生徒のリアクションについて報告する。

日本デジタル・シティズンシップ教育研究会について

JDICE (Japan Digital Citizenship Education Research Group) 日本デジタル・シティズンシップ教育研究会は、世界的にもデファクトになりつつある「デジタル・シティズンシップ教育」を日本国内で普及定着させるため、2019年研究同人により結成されました。本会は調査研究・教材開発・講演・研修・広報等を積極的にすすめています。最新情報はこちらの研究会サイトをご覧ください。 <https://jdice.org/>



主な出版物・教材等

デジタル・シティズンシップ: コンピュータ1人1台時代の善き使い手をめざす学び, 大月書店 (2020)
デジタル・シティズンシップ プラス: やってみよう! 創ろう! 善きデジタル市民への学び, 大月書店 (2022)
はじめよう! デジタル・シティズンシップの授業: 善きデジタル市民となるための学び, 日本標準 (2023)
子どもの未来をつくる人のためのデジタル・シティズンシップ・ガイドブック for スクール, 教育開発研究所 (2023)

GIGA スクール時代のテクノロジーとメディア〜デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化

経済産業省「未来の教室」STEAM ライブラリ (コマ1~8・解説編) (2021)

国際大学 GLOCOM & NEP GLOCOM Full プロジェクト (コマ9~10) (2023)

<https://full-glocom.jp/resources#theme1>



家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ

総務省「令和4年度 偽・誤情報等の情報流通環境の実態把握及び啓発施策の在り方等に関する調査研究の請負」

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社・国際大学 GLOCOM・NEP (2023)

<https://full-glocom.jp/resources/theme2#theme2>



リアルゼミ札幌

試される学校

その先のGIGAとデジタル・シティズンシップを構想する

共 催 日本デジタル・シティズンシップ教育研究会 (JDICE)・公益財団法人 KDDI 財団
後 援 北海道教育委員会・札幌市教育委員会
函館市教育委員会・石狩市教育委員会・森町教育委員会
さくらインターネット研究所・NoMaps 実行委員会
北海道教育大学

助言・協力

佐藤 正範 北海道教育大学 特任講師
朝倉 恵 さくらインターネット研究所 研究員
山形 巧哉 Code For Japan/ 合同会社 山形巧哉デザイン事務所

日 時 2023年9月30日 12:30~16:30 (開場 12:00)
場 所 さっぽろテレビ塔 ホール・ネット中継あり
〒060-0042 札幌市中央区大通西1丁目 ☎011-241-1131
<https://www.tv-tower.co.jp/> 札幌市営地下鉄 大通駅下車 27番出口すぐ。

参加方法 オンラインにて事前にご登録ください (現地参加・オンライン参加 いずれも無料)
会場参加 (定員 100名)
<https://real4sapporo.peatix.com/>
オンライン参加・アーカイブ視聴 (定員 200名)
<https://online4sapporo.peatix.com/>



JDICE

Japan Digital Citizenship Education Research Group
日本デジタル・シティズンシップ教育研究会

お問い合わせ: 日本デジタル・シティズンシップ教育研究会 JDICE
contact@jdice.org